

2 10大費目指数の動き

各費目の動きを前年比で見ると、食料は肉類の値上がりなどにより3.9%上昇、光熱・水道は電気代の値上がりなどにより8.9%上昇、家具・家事用品は家庭用耐久財の値上がりなどにより5.8%上昇、被服及び履物は衣料の値上がりなどにより1.1%上昇、教育は補習教育の値上がりなどにより0.9%上昇、教養娯楽は教養娯楽用耐久財の値上がりなどにより0.8%上昇、諸雑費はたばこの値上がりなどにより0.8%上昇した。

一方、住居は家賃の値下がりなどにより0.2%下落、保健医療は保健医療サービスの値下がりなどにより0.4%下落、交通・通信は通信の値下がりなどにより1.9%下落した。

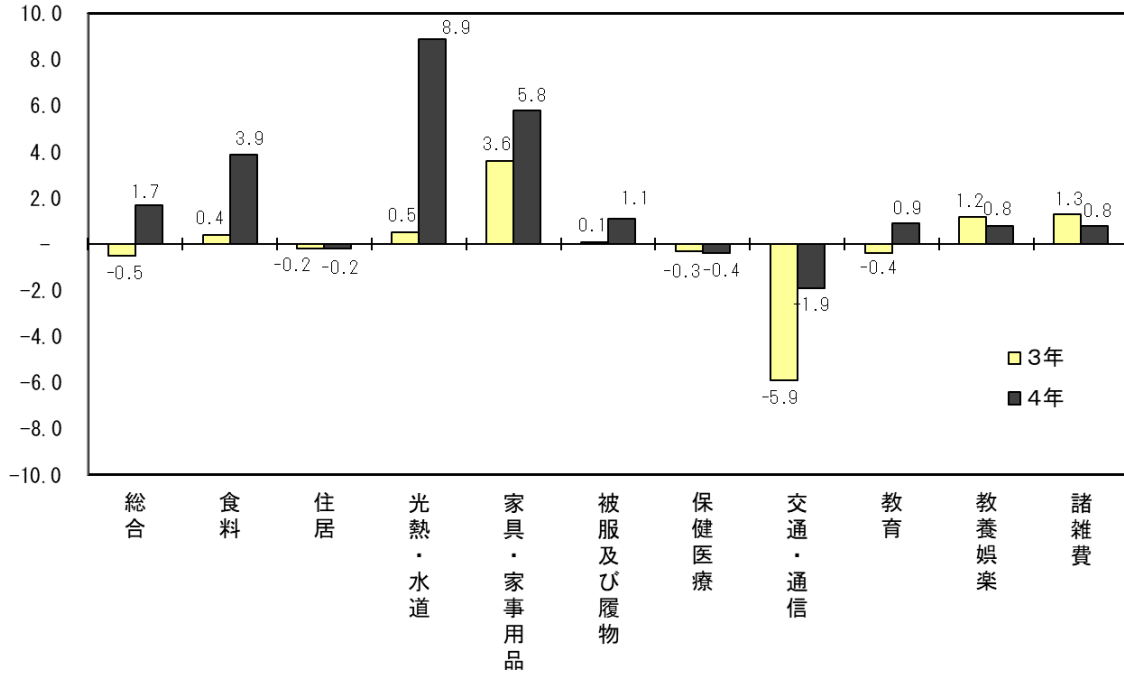
10大費目指数	令和2年=100			
	前年比(%)		寄与度	
	3年	4年	3年	4年
総合	-0.5	1.7		
食料	0.4	3.9	0.11	1.02
住居	-0.2	-0.2	-0.05	-0.04
光熱・水道	0.5	8.9	0.04	0.61
家具・家事用品	3.6	5.8	0.15	0.25
被服及び履物	0.1	1.1	-	0.04
保健医療	-0.3	-0.4	-0.02	-0.02
交通・通信	-5.9	-1.9	-0.92	-0.28
教育	-0.4	0.9	-0.01	0.02
教養娯楽	1.2	0.8	0.11	0.08
諸雑費	1.3	0.8	0.09	0.06

※寄与度について

寄与度とは、ある品目又は類の指数の変動が、総合指数の変化率にどの程度寄与したかを示したものであり、計算式は次のとおりである。

$$\text{寄与度} = \frac{(\text{当期の指数} - \text{前期の指数}) \times \frac{\text{当該項目のウエイト}}{\text{総合のウエイト}}}{\text{前期の総合指数}} \times 100$$

費目別前年比



費目別寄与度

